

宗像地区



0m 500m 1km

- ふれあいバス停
- 大成交通バス停
- スワン号バス停
- レインボーバス停

3 せんぶくじやくしどう 泉福寺薬師堂 1棟

【指定年月日】 昭和52年6月27日 【所在地】 岩戸1671

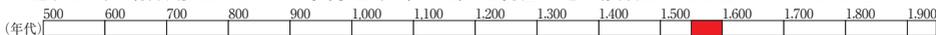
泉福寺は、開基や沿革が明らかではありません。弘治2年(1556)に焼失してその後再建されたものと伝えられています。

茅葺寄棟造の三間堂で、垂木に古いものが残っているものの建具は創建当時のものではありません。

内部は後部2間が内陣、前部1間が外陣という構造で、現存の構造や痕跡からかつて中敷居を入れた建具があったと推定されています。

建立年代は建築手法から室町時代末期と考えられ、栄福寺薬師堂、宝珠院観音堂の後に位置付けられます。

昭和56年の解体修理によって、貞享2年(1685)に現在の地に移築されたことがわかりました。



県指定有形文化財(彫刻)

9 もくぞうやくしにょらいざぞう 木造薬師如来坐像 1軀

【指定年月日】 昭和42年3月7日

【所在地】 平賀2146(来福寺)(現在 岩戸1742 印旛歴史民俗資料館保管)

像高56cm、カヤ材の一本造です。胎内胸部に「こうあん八年八廿三日きのとの仏師賢光(花押)と梨」と記した墨書銘があり、鎌倉時代の弘安8年(1285)に仏師賢光によって造られたことがわかります。毎年7月7日に行われる薬師尊大護摩供で開帳されます。



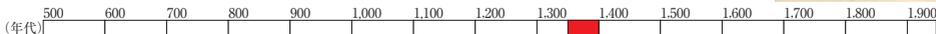
市指定有形文化財(歴史資料)

36 いたいしとうば 板石塔婆 1基

【指定年月日】 平成3年5月8日

【所在地】 岩戸1742(印旛歴史民俗資料館保管)

この板碑は、ねんばんがん 粘板岩製で、長さ64cm、幅22cmあります。阿弥陀一尊を示すキリークと文和2年(1353)7月の銘が刻まれた武蔵型板碑です。



市指定有形文化財(考古資料)

32 とこなめ おおつほ 常滑の大壺 1口

【指定年月日】 昭和51年6月1日

【所在地】 岩戸1742(印旛歴史民俗資料館保管)

この大壺は、現在、県立印旛沼公園として整備されている師戸城I郭(本丸)内から明治20年(1887)ごろに畑の耕作中に出土しました。高さ60.5cm、口径33.2cm、底径17.4cm、胴部最大径52cmの常滑焼で、城と同時期の15世紀のものです。

